

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	英語II		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	ILC国際語学センター	実務経験と その関連資格	TESOL(英語教授に関する資格)を取得、長年日本における中学・高等学校や英会話教室にて英語教授に携わってきた。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>医療の現場で患者対応の際に必要な基礎知識と英語コミュニケーションを学ぶ。 医療英語コミュニケーションの教科書を使用し、医療の現場における患者との基礎的な英会話をペアワーク、グループワーク、グループディスカッション等のアクティビティを通じて学習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>中間20、期末60(筆記試験+発表)、平常点20</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>「医療英語コミュニケーション」医療・福祉英語検定協会</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>授業を受けるにあたり、前期に学んだ基礎英語をしっかりと復習しておきましょう。 授業前の予習、授業後の復習を行きましょう。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	教科書1章受付に必要なあいさつができるようになる。 Orientation & procedure: First time questions - medical versus social. How to use the MEC text.		医療英語コミュニケーション	1年次に学んだ基礎英語の復習をしておくこと。	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、あいさつと手順、プレテスト Chapter 1 pp7 受付業務に関する表現(単語)				
第2回	授業を通じての到達目標	教科書1章受付、患者役それぞれの立場で会話ができるようになる。Reception		医療英語コミュニケーション	教科書p.6-10を事前に読んでおくこと。	
	各コマにおける授業予定	Chapter 1 pp 6-10 - 病院受付の続き、ロールプレイヤー受付係/患者 Speech 1				
第3回	授業を通じての到達目標	教科書2章症状や診療各科の英単語を見える。Locations and directions I. Giving and accepting directions to various hospital departments using "where", "what", and prepositions		医療英語コミュニケーション	教科書p.12-13を事前に読んでおくこと。	
	各コマにおける授業予定	Chapter 2 pp 12-13 - 場所と方向。症状や診療各科の名称				
第4回	授業を通じての到達目標	教科書2章病院内のそれぞれの科への案内ができるようになる。Locations and directions II. (continued) Symptoms and their treating departments.		医療英語コミュニケーション	教科書p.14-17を事前に読んでおくこと。	
	各コマにおける授業予定	Chapter 2 pp 14-17 - 場所と方向。症状や診療各科の名称つづき Speech 2				
第5回	授業を通じての到達目標	教科書3章体の部位、症状に関する英単語、イディオムを見えるBody parts and descriptions of pain. Expressing duration with the present perfect tense.		医療英語コミュニケーション	教科書p.18-22を事前に読んでおくこと。	
	各コマにおける授業予定	Chapter 3 pp 18-22 - 体の部分と痛みに関する表現。現在完了の期間に関する表現方法。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	教科書4章I feel, I have等を用いて症状を表現できるようになる Symptoms. Basic symptom expressions using "I have...", "I have a...", "I feel...", "I am...", "...feels..." and "...hurts".	医療英語コミュニケーション	教科書p.24-26を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	Chapter 4 pp 24-26 - 病状 I. I feel, I have等を用いて熱、吐き気等の基本的な症状についての表現を学ぶ。Speech 3		
第7回	授業を通じての到達目標	教科書4章患者の症状を尋ねられるようになる。Symptoms. Basic symptom expressions using "I have...", "I have a...", "I feel...", "I am...", "...feels..." and "...hurts". Additional	医療英語コミュニケーション	教科書p.26-28を事前に読んでおくこと。中間試験の復習を行う。
	各コマにおける授業予定	Chapter 4 pp 26-28 - 症状 II. 症状に関する尋ね方尋ねる。中間試験前の復習。		
第8回	授業を通じての到達目標	過去のできごとについて述べられるようになる。眼の構造を学ぶ 中間試験の実施 Mid-Term TEST	医療英語コミュニケーション	中間試験対策を行う。
	各コマにおける授業予定	過去形や、過去進行形について学ぶ。 Eye Anatomy 中間試験の実施 Mid-Term TEST		
第9回	授業を通じての到達目標	教科書5章看護師、患者役に分かれた問診に関するコミュニケーションが取れるようになる Illnesses and symptoms I. Discussing symptoms, family history, illnesses, etc. using the	医療英語コミュニケーション	教科書p.31-33を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	Chapter 5 pp 31-33 - 問診。症状や、家族の既往歴、病気について話し合う。ロールプレイ-看護師/患者 Speech 4		
第10回	授業を通じての到達目標	教科書6章患者の習慣や行動について尋ねられるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書p.37-39を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	Chapter 6 pp 37-39 - 習慣と行動 I. 頻度に関する表現を使用し、生活習慣や薬の投与薬について尋ねる。現在の健康状態に関して尋ねたり答えたりする。		
第11回	授業を通じての到達目標	教科書7章患者へ指示を出す表現を見える Physical Examination. Command language, common instructions, weights, measures.	医療英語コミュニケーション	教科書p.40-41を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	Chapter 7 pp 42-45 - 内科。測定や、診療時の患者への指示方法に関して学ぶ。		
第12回	授業を通じての到達目標	教科書8章バイタルサインなど測定時の会話ができるようになる Vital signs: students will learn how to describe vital sign measurements to patients.	医療英語コミュニケーション	教科書p.42-45を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	Chapter 8 pp 46-49 - バイタルサインと測定する時の単位について学ぶ。Speech 6		
第13回	授業を通じての到達目標	教科書10章 検査や処置についての英単語を見える Students will learn English vocabulary related to medical examinations and procedures.	医療英語コミュニケーション	教科書p.46-47を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	Chapter 10 病院で実施される検査や処置の英単語、説明手順について学ぶ		
第14回	授業を通じての到達目標	最終発表 speech	医療英語コミュニケーション	教科書p.48-49を事前に読んでおくこと
	各コマにおける授業予定	最終発表 speech		
第15回	授業を通じての到達目標	学期末試験の復習が自宅でもできるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書(学んだ範囲)の復習を行う。
	各コマにおける授業予定	学期末・総復習を行う。		